

デトロイト・ラスベガス海外流通視察ツアー2016



AAAL海外視察検討委員会

報告書

■企画／主催

オートアフターマーケット活性化連合(AAAL)

■旅行企画実施 (株)JTB コーポレートセールス 霞が関第五事業部 営業第三課

■期間／旅程

1日目	10月29日(土)	東京(成田)発	
2日目	10月30日(日)	デトロイト視察	・オートモーティブ・ホール・オブ・フェーム ・ヘンリーフォードミュージアム ・アドバンスオートパーツ ・シアーズオートパーツ ・デトロイトタイガース球場観光
3日目	10月31日(月)	デトロイト視察	・フィールドリ्यूージュ工場 ・トロイモーターモール ・GMルネッサンスセンター ・在デトロイト日本領事館 ・オークスモール
4日目	11月1日(火)	ラスベガス視察	・SEMA SHOW 自由視察
5日目	11月2日(水)	ラスベガス視察	・SEMA SHOW 自由視察
6日目	11月3日(木)	ラスベガス視察	・バスプロショップ ・ペップボーイ ・オートゾーン ・ウォルマートスーパーセンター ・プレミアアウトレット・ノース
7日目	11月4日(金)	ラスベガス発	移動日 成田へ(ロサンゼルス経由)
8日目	11月5日(土)	東京(成田)着	到着後、解散へ



■参加者 (23 名)

※順不同・敬称略

1	株式会社 タクティー	石垣 拓	総務部 部長
2	株式会社 オートボックスセブン	秋山 悟	商品開発部
3	株式会社 オートボックスセブン	飯田 俊彦	カー用品商品部
4	株式会社 タクティー	岡本 武史	カーエレ商品部 部長
5	株式会社 カーメイト	大江 弘樹	国内営業統括部 福岡営業所 所長
6	エイケン工業 株式会社	原 盛朗	開発技術部 係長
7	エイケン工業 株式会社	長谷川拓己	営業部 主任
8	星光産業 株式会社	渡邊 剛史	営業部 係長
9	星光産業 株式会社	佐々木 渉	製品開発本部 第一企画室
10	東京エー・アイ・シー株式会社	波多野幸雄	代表取締役
11	株式会社 ボンフォーム	古田 辰雄	営業本部 第二営業課 次長
12	株式会社 ボンフォーム	小澤 但至	営業本部 マネージャー
13	制研化学工業株式会社	前川 幸生	取締役社長
14	株式会社 ソフト 99 コーポレーション	佐川 博之	東京第三営業部 部長
15	株式会社 アクセス	溝田 孝治	営業本部 執行役員
16	株式会社 アクセス	野崎 忠	多摩営業所 所長
17	辰巳屋興業 株式会社	左崎 隆造	海外部 係長
18	辰巳屋興業 株式会社	飯塚 悠貴	海外部
19	中央自動車工業 株式会社	小崎 哲也	大阪支社 マネージャー
20	中央自動車工業 株式会社	日高 毅	福岡支社 マネージャー
21	明治産業 株式会社	森本 敬志	国内本部 本部長付
22	株式会社 ブリッツ	喜多 俊介	企画部マーケティングGエキスパー
23	(一社) 自動車用品小売業協会	中小路俊康	事業推進部長
	J T B	佐藤 太二	添乗員



2006 年から毎年実施している SEMA ツアーも今年で 11 回目を迎えました。

今回の SEMA ツアーは日本自動車部品協会（J A P A）様と一緒にデトロイトからラスベガスのコースで実施いたしました。

【現在のデトロイト】

100 年以上の歴史を誇る、古き良き高層建築群。しかし溢れるような人混み、豊かなネオンサインに輝くカフェがありません。2014 年春には、ハリウッド映画『バットマン vs スーパーマン』のロケも行われた事も納得がいきます。2013 年 7 月に連邦裁判所に破産を申告し、昨年の A A A L 海外流通視察セミナーで訪れた時の街の雰囲気は「荒れ果てた都」「終わった街」という印象とは少し趣を変えており、さらに今年は活気を取り戻しつつある。



デトロイトの街の中心、GM（ゼネラルモーターズ）本社があるダウタウンと、そこに隣接し教育施設が多く点在するミッドタウンに活気が戻っている。荒れ果てたビルもあり、人混みはまだまだ少ない一方、あちこちの道路で補修工事が行われダウタウンとミッドタウンの空き室率は僅か 2% まで回復している。デトロイトを含むミシガン州で大きな基盤を築いてきた日系人を含む日本人・企業社会は、今回のデトロイト復興にどう向き合ったのか。デトロイト市を中心とし、人口約 300 万人を抱えるデトロイト都市圏（メトロデトロイト）に総領事館や領事館を置いている国は計 7 カ国。自動車産業と縁が深い日本とイタリア、アメリカと国境を接するカナダとメキシコは別として、他の 3 カ国はイラク・レバノン・マケドニアが並ぶ。デトロイトの日本総領事館によれば、ミシガン州には約 1 万 2500 人の邦人が暮らし、約 470 の日系企業が約 3 万 7000 人の雇用を生み出している。雇用の 95% は現地採用。デトロイトの人々に対する日本の貢献は「very strong」と認識され、2013 年夏に“デトロイト破産”が大きなニュースになった時もほぼ唯一と言って良い貢献をした外国企業が日本の企業だった。最初に動いたのがトヨタ。2014 年 8 月にトヨタは、破産による美術品の流出が懸念されていたデトロイト美術館に 100 万ドルを寄付することを発表。他の日系企業も 2014 年 11 月に 220 万ドルの寄付を行うことを決め後に続いた。トヨタはデトロイト都市圏に対し、直接雇用だけで 1200 人、関連企業を合わせると 8000 人の雇用をしている。

今回現地の視察では、デトロイト市の復興と日系企業のとのかわり、そして海外投資としての土地・建物の活用など注目すべき点が多く見られた。

【在デトロイト日本国総領事館 セミナー：「米国経済と日米経済の関係」】

2015 年 10 月、日米が交渉をリードし、T P P の大筋合意を実現。T P P は地域の経済的繁栄のみならず安全保障にもふれ、戦略的意義を持つところで引き続き日米で連携していく。ミシガン州における日系企業の事業所数は 487 ケ所で日本は主要な海外投資国となっている。事業所の 55% は製造業のうち 62% は自動車関連である。オハイオ州の日系企業は 422 ケ所 2014 年で事業所の 60% が製造業、うち 51% が自動車関連となっている。また日系企業の雇用は 98% を現地採用という高い水準である。今後日米経済は協力のすそ野を広げ、①官民連携の強化 ②州・地方レベルの協力（貿易・投資・エネルギー・環境・気候変動等）③TOMODACHI イニシアチブ（教育・文化交流・リーダーシップといったプログラムを通して次世代リーダーの育成を目指す）。



【自動車殿堂(Automotive Hall of Fame)】

アメリカ自動車産業の発展に対し、それらに携わった人物を紹介する歴史博物館。自転車2輪から現在の自動車へと急激な成長と発展を遂げ、アメリカのみならず自動車産業は、経済の中心となる。

自動車産業発展に貢献したトーマス・エジソン、ヘンリー・フォード、ウォルター・クライスラー等数々の人物が殿堂入り。また本田宗一郎（本田技研工業）、豊田英二（トヨタ自動車）、石橋正二郎（ブリヂストン）他、多くの日本人も功績を称えられている。



【ヘンリー・フォード博物館(Henry Ford Museum)】

自動車産業で偉大な足跡を残したヘンリーフォードの名の博物館。自動車のみならずアメリカの歴史的な遺産、文化を集め歴史そのものを振り返ることが出来る。我々も一度は聞いたことのある有名な歴史上の人物古くは“ライト兄弟“や”エジソン”、“リンカーン”等アメリカの歴史に対する遺産物や功績の展示、ケネディー大統領暗殺時の車両や大統領送迎蒸気機関車の実物大、奴隷制度に関する資料等、博物館でアメリカの歴史を学び、タイムスリップを体感出来る場所となっている。



【アドバンスオートパーツ】

全米49州に店舗展開するカー用品店を視察、店内売場に関しては、DIY向け（オイル、バッテリー、工具、メンテナンス）商品が中心でアクセサリ、インテリア、電装商品の取り扱いは少量。米国では主流の倉庫型販売店舗で最近では、EC販売での特典（ネット注文で15%～20%OFF）をもうけネット販売が主となってきている。レジ・カウンター裏が在庫置場（主に適合品パーツ）となっており、来店客の売上構成比は20%ほど。売上の大半は整備工場向け部品の卸と前述のEC販売。



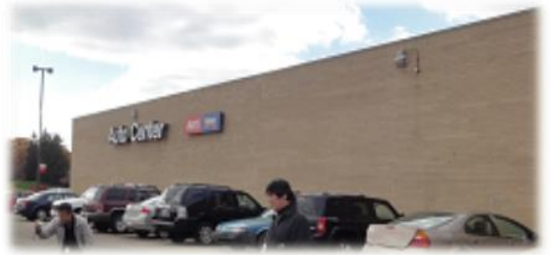
【オーライリーオートパーツ】

基本的にM&Aで拡大をしている為、店舗毎に外観や店舗内レイアウトが異なる。今回訪れた店舗はアドバンスオートパーツ同様、倉庫型の店舗となるが、レイアウトや売場、展開方法、見せ方、品揃え等がどこことなく日本の店舗に近いものがあつた。また接客頻度も高く、応援特価のようなチラシがあつたのも特徴的であつた。



【シアーズオートセンター】

大型ショッピングモール内にあるオート部門、PIT も併設されている店舗である。PIT 整備の休業日ということもありモール内からの PIT 作業場の認知が非常に難しく、タイヤ、バッテリーも展示しているがスタッフも少ない為商売として成り立っているのかは疑問。メンテナンス商品や他の商品は触れることが出来る体感型展示は参考となる。



【フォードリバー・ルーージュ工場見学 Ford Rouge Factory Tour】

フォード社設立の成り立ちから歴史を学ぶ。製鉄所の内製化や生産ラインの導入によりコストや時間、動力の効率化を図り全盛期には12万人もの従業員を抱える巨大工場へと成長。自動車市場、産業の急激な拡大の中心的存在であったが、安価+安全な日本車の台頭によりデトロイトの自動車産業は大きく傾き、従業員の大量解雇、関連企業の倒産が相次ぐ、また世界恐慌や世界大戦、デトロイトの経営破たんを経るもなお自力で存在し続けるデトロイト最大規模の工場である。フォード人気車 F150 をラインにて生産、受注生産となっており、在庫をしないスタイルにて運営



【トロイモーターモール】

各社ディーラーが集まったディーラー集積地となっている。それぞれの展示車両は通信シェアし販売を行っている



【SEMA SHOW 2016 Las Vegas 視察】

SEMA ショーは世界で最高の「自動車アフターパーツ&カスタマイズカー」のイベントです。自動車、トラック、および RV 市場で、100 カ国以上から 10 万人以上の業界リーダーを集めています。 昨年は各国から 5 万人以上のバイヤーを招きました。ディスプレイは、12 のセクションに分割し、それらの新製品ショーケースは約 1,500、新たに導入された部品、ツール、及びコンポーネントを特色にしました。

また、SEMA ショーは、教育セミナー、製品デモ、特別なイベント、ネットワーキングの機会と詳細と参加者を提供しています。



アウトドアスタイル

＜レジャー・キャンプのカーライフシーン提案＞

JAPAN サイズにあわせたソフトアウトドア提案 SUV・ミニバンから軽自動車まで



車内収納

荷室を利用した収納！

スライドレール付きの為、出し入れが簡易に！！



レストア

アメリカにはレストア文化があり、部品が豊富！

レストア：製造時期から年数がたったビンテージモデルを復活



カスタムバケットマット ドレスアップ

バケットタイプのオーダーマットはイレブンインターナショナル社にて作成可能

汚れ防止+ドレスアップの万能マットへ



ラッピング

従来のシートを伸ばすラッピングから縮ませるラッピングへ
作業効率が良く、完成度の高い車両が完成



カスタムドレスアップ

おしゃれは足元から！！
目立ってなんぼのホイールは派手！！



おもしろ・アイデア商品



●ビニール型車庫



●リムキズ防止カラーバンド



●タバコ消臭剤



●ブルートゥース型ラジオ



●ワイヤレスカメラ



●音連動LEDテープ

【バスプロショップ Outdoor World by BassPro Shop】

釣り、キャンプ、マリンスポーツ、ボート、バギー等数多くのアイテム数を取り扱う巨大店舗。店内に入っただけでワクワクする演出と各コーナーでの VMD 展開、必ずあると思わせる幅広い品揃えとどれをとっても圧巻。売場の演出や陳列方法、VMD 展開、シーン訴求等参考にすべき点が非常に多い。



【ペップボーイズ ThePepBoys】

オートパーツ業界のパイオニア。2000 年から PIT を併設し、必要に応じて作業を行うワンストップショッピングをコンセプトにしている。商品陳列が非常にきれいに行われており、日本のカー用品専門店に似たレイアウト、棚陳列であった。倉庫（バックヤード）が広い（店内の約 3 分の 1）のも特徴のひとつ。



【LEXUS】

高級車（BMW・BENZ・AUDI・LEXUS）の中でのラスベガス地区内シェア 20%。顧客の囲い込みを行うべくクイックサービス（安全点検、オイル交換、洗車）の 30 分内お返しサービスやこの店舗のみのサービスだが LEXUS オーナーには洗車無料サービスなど徹底した顧客視点のサービスを行っている。購入者の約 9 割がメンテナンスを行っているのも特徴である。また管理面においては、欠品“0”、不動在庫ほとんどなしの上級な鮮度管理や PIT 作業員の定期的なグループ内 PIT 研修の参加と徹底した人材育成が行われている。



【まとめ】

今回の視察ツアーは、アメリカの自動車産業が社会に与える影響が非常に大きいと感じ、未来に向けてマーケットの発掘と変化を絶え間なく続けていくことが必要であると強く感じた。小売店やディーラーへの訪問で、生き残りを掛けて、将来を見据えた経営を営み、発展していくという強い思いを感じることが出来た。現代はネット時代と呼ばれ、SNS を利用して情報の拡散から、トレンドの浸透をおこない、その流行の衰退のスピードはかなり早い為に、常にカーライフの提案を訴求・提案し続けることが大事です。

以上

（作成者：APARA事務局 中小路 俊康）